

平成19年度東北海区海況予報 第4号

平成19年12月14日

独立行政法人水産総合研究センター 東北区水産研究所

<<今後の見通し(2007年12月～2008年2月)>>

- (1)近海の黒潮の北限位置は、かなり南偏～やや南偏(35°20' N～36°20' N)で推移する。
- (2)黒潮系暖水の北限位置は、近海で平年並で推移する。
- (3)色丹島沖の暖水塊は北東に移動する。金華山沖の暖水塊は停滞する。
- (4)親潮第1分枝の張り出しは、平年並～やや北偏(39°30' N以北)で推移する。常磐近海に冷水域が残る。
- (5)親潮第2分枝の張り出しは、平年並(39°N以北)で推移する。
- (6)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、平年並～やや強勢(143°E付近まで)で推移する。

(海況の経過(2007年9月～2007年11月)の特徴)

- (1)近海の黒潮の北限位置は、9月は平年並であったが、その後極めて南偏～かなり南偏(34°10' N～35°40' N)で推移した。
- (2)2006年の9月から釧路南東沖に停滞していた暖水塊が、2007年9月以降北東方向に移動した。5月に常磐沖に認められた暖水塊が、西方に移動した。
- (3)親潮第1分枝の南限は、9月以降やや北偏(41°N～42°N)で推移した。
- (4)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、9月は平年並であったが、10～11月は、極めて強勢で推移した。
- (5)東北海区の表面水温は、高めで推移した。

(現況(2007年11月下旬～12月上旬)の特徴)

- (1)近海の黒潮の北限位置は、かなり南偏(35°20' N)*である。
- (2)暖水塊が色丹島南東沖約200km*および金華山沖約140kmにある。
- (3)親潮第1分枝の張り出しは、やや北偏(42°N)であるが、かなり東偏している。また連なる冷水域がある。
- (4)常磐沖および道東沿岸に冷水域がある。
- (5)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、平年並(142°50' E)である。

注：現況および今後の見通しは図を参照のこと。

「近海」は146°E以西、「沖合」は146°E以东を表す。

* 表面水温・人工衛星情報による。